

メニュー



交通情報

各駅停話

毎日、大勢の人が集っては散っていく駅。様々な人々が交錯する駅にまつわる物語を、路線ごとに各駅停車ならぬ「各駅停話」として紹介していきます。

- 京急本線 東京メトロ銀座線 JR外房線 つばエクスプレス 西武秩父・池袋線
- 東急田園都市線 大井川鉄道大井川本線 いすみ鉄道 東北新幹線
- 東武スカイツリーライン 相鉄本線 JR成田線 北陸新幹線 埼玉高速鉄道線
- 都電荒川線 伊豆箱根鉄道駿豆線 江ノ島電鉄線 JR京葉線 東武東上線
- 叡山電鉄 小田急小田原線 京王井の頭線 小湊鉄道 JR青梅線 西武新宿線
- 東海道新幹線 東京モノレール 東急東横線 JR千歳線 JR函館線 京成本線
- JR京浜東北・根岸線 JR中央線



東急田園都市線

渋谷

目指せ都会の清流復活 (5/7) ■

作家大岡昇平(1909~88)の自伝「幼年」には大正期の渋谷が事細かく記されている。幼少期、渋谷を中心に7回引っ越したとし、後年、渋谷駅近くの自宅跡を訪ね、おおもねこう書いた。《飲み屋横丁の反対...[続きを読む]



池尻大橋

夢じゃない目黒産ワイン (5/6) ■

池尻大橋駅そばの首都高大橋ジャンクション。2路線をつなぐ巨大建造物の屋上に東京都目黒区立の「目黒天空庭園」がオープンしたのは3年前の春だ。日本的な風情を演出したという回遊式、さらに一年中、季節の花々...[続きを読む]



三軒茶屋

路地入り組む三角の迷宮 (5/2) ■

三軒茶屋(さんげんぢやや)のランドマーク、キャロットタワーは今年、開業20周年。50階以上の超高層ビルも珍しくなくなった昨今、高さで及ばないものの展望台(26階)は今も人気だ。散歩コースだという...[続きを読む]



駒沢大学

五輪後活用の優等生 (4/30) ■

前回東京大会(1964年)の第2会場「駒沢オリンピック公園」は五輪施設の後利用の手本とされることが多い。バレーボール女子「東洋の魔女」が金メダルをとった屋内球技場は建て替え中だが、ほとんどの施設は健...[続きを読む]



桜新町

サザエの街でございます (4/28) ■

優秀な店員を雇ってサービスに努めよう――。1955年、桜新町の商店主らは全国に先駆けて集団就職を受け入れたことで知られる。翌年には新潟から53人、千葉から3人が来た記録が残る。「歓迎 新店主」の看板...[続きを読む]



用賀

かつては伝説のゴルフ場 (4/27) ■

用賀駅を出て西に歩くこと1キロ余り。今春、1日最大約10万人の花見客が訪れたという東京都立砧(きぬた)公園にたどり着く。管理棟に興味深い航空写真があった。「ここが九つのホールで、上空から見ると、...[続きを読む]



二子玉川

目標は日本一働きたい街 (4/26) ■

東急電鉄が掲げる三つの日本一がある。「日本一住みたい沿線 東急沿線」「日本一訪れたい街 渋谷」。もう一つは「日本一働きたい街 二子(ふたこ)玉川」だという。玉川高島屋や二子玉川ライズといった商業...[続きを読む]



二子新地

チョーク 年間6千万本 (4/25) ■

黒板で使うチョークを作って80年目。年間6千万本以上を製造する業界トップが、二子(ふたこ)新地駅近くの日本理化学工業だ。社員82人のうち、7割以上に当たる60人が知的障害者。1959年秋、当時専務の...[続きを読む]



高津

連載900回 話題は尽きず (4/23) ■

高津駅(川崎市高津区)周辺は沿線でもひととき文化の薫りが高い地区。多くの著名人とゆかりがある。駅構内の壁画は岡本太郎の作品。太郎は漫画家の父一平と作家の母かの子の長男で、旧高津村に生まれた。駅か...[続きを読む]



溝の口

若夫婦が迎える米屋さん (4/22) ■

JR南武線と接続する交通の要衝。駅前にはビルが密集するが、南に10分ほど歩くと、今では珍しい町の米屋さん「関屋精米店」がある。1949年、故・関口紀彦さんが創業した。孫の正徳さん(35)は日本米...[続きを読む]



梶が谷

理容師60年 腕には自信 (4/21) ■

梶が谷駅から西に10分ほど歩くと大山街道沿いに「吉川理容店」がある。60年以上も店を守ってきたのは吉川美津代さん(87)だ。両親(故人)は新潟県出身。父敏平さんが都内の自動車学校で知り合った友人...[続きを読む]



宮崎台

運転士、こだわりの音で (4/20) ■

宮崎台駅近くに音楽家の夢とロマンが詰まった建物がある。東急電鉄が運営する「電車とバスの博物館」だ。略称電バス。目玉の一つは8090系電車の運転シミュレーター。運転席の前には実際に現場で撮影した実...[続きを読む]



宮前平

人気者はわがまま育ち (4/19) ■

宮前平駅から北に2キロ弱。約1万平方メートルの農地が広がる。小泉博司さん(38)と両親が経営する「小泉農園」。大正生まれの祖父も時々畑に顔を出す。ハーブや西洋野菜など約40種類を栽培し、川崎市を中心...[続きを読む]



鷺沼

歓声の下 巨大な水がめ (4/18) ■

鷺沼(さぎぬま)駅(川崎市宮前区)の北口を降りて少し歩くと、子どもや若者の元気な声が聞こえてくる。線路沿いの一帯には、Jリーグの川崎フロンターレが運営するフットサルコートや遊具もそなえる「鷺沼ふれあ...[続きを読む]



たまプラーザ

元気に本場ソーセージ (4/15) ■

たまプラーザ駅(横浜市青葉区)周辺には高級住宅街の美しい街並みが広がる。テレビドラマのロケ地にも選ばれるこの地で毎月第3日曜日に開催されているのが「軽トラ元氣市」。公園内に軽トラやワゴン車などを乗り...[続きを読む]

